

渡島の研究活動

研修部長 北斗市立茂辺地小学校
校長 岩間 唯史

1. はじめに

渡島小中学校長会は、本年度から新たな研究主題「未来に向かって 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる渡島小中学校教育の推進」とし、第14期3か年継続研究を開始した。これは、子どもたち一人一人が未来を切り拓いていけるよう豊かな人間性と社会性を身に付けさせ、社会において自立的に生きていくための基礎を培うことが我々の使命であると考えたからである。



2. 研究計画

(1) 研究主題

未来に向かって 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる渡島小中学校教育の推進
～ふるさとを愛する心、新しい社会に生きる確かな学びを育む学校経営～

(2) 研究の方針

- ① 校長の指導性を発揮すべき内容や課題に関して、実践的・実証的で、前向きな研究推進をする。
- ② 各関係機関や団体との間で連携を確立していくことができる発展的な研究とする。
- ③ 効果的な研究推進を保障し、持続させ、積み上げ、評価する研究とする。
- ④ 経営者としての説明責任を果たす校長となるよう、自己研鑽に努める。
- ⑤ 新しい学校の創造に向け、経営・対策・情報の各部との連携を図り、研究の実践に努める。

(3) 研究の方法

- ① 研究期間は、平成25年度から27年度までの3か年研究とする。
- ② 年次研究のねらい
 - 《1年次》研究課題に関する理論研究
自校における課題把握
 - 《2年次》ブロック研究の充実
 - 《3年次》成果の確認と検証

3. 研究の概要、研究活動

(1) 研修部通信の発行

研究推進のための「手引き」として、1学期に研修部通信を発行し、全会員に配布する。

(2) ブロック研究及び研究分担

渡島小中学校長会の研究は、4つの研究課題を設定して研究を推進する。研修部は「教

育の今日的な課題」の解明を、管内の3つのブロックは「学校経営」の各分野を受け持ち、3か年ブロックを固定し、組織的、計画的に研究を推進する。

(3) 第37回渡島小中学校長会研究大会の開催

- ① 期日 平成25年11月9日(土)
- ② 会場 ロワジールホテル函館(函館市若松町14-10)
- ③ 日程 開会式 講演 研修部全体提言(道小報告)
課題別3分科会 講評 閉会式
- ④ 講演 演題 「学校の役割と教師の仕事」
講師 鶴ヶ島市教育委員会教育長
河上亮一氏
- ⑤ 研修部全体提言
研究課題 自然環境を大切にする心と実践力を育てる環境教育と校長の在り方
研究の視点 多様な体験的な活動を通し、実践的態度の育成を図る
研究テーマ エネルギー・環境教育の推進と校長の関わり
提言者 松前町立松城小学校長 福原至
- ⑥ 課題別分科会
 - ◎第1分科会
 - 研究課題 「学校経営に関する研究」
 - 研究内容 自校における課題把握 理論研究
 - 研究協議の柱 確かな経営ビジョンを構築し、組織を活性化させるにはどうすればよいか。
 - 話題提供者 木古内町立木古内小学校長 伊藤良美
 - ◎第2分科会
 - 研究課題 「教育課程に関する研究」
 - 研究内容 自校における課題把握 理論研究
 - 研究協議の柱 課題を明らかにし、確かな学びを育むためにはどうすればよいか。
 - 話題提供者 北斗市立石別中学校長 高橋徹
 - ◎第3分科会
 - 研究課題 「指導・育成に関する研究」
 - 研究内容 自校における課題把握 理論研究
 - 研究協議の柱 教職員の資質・能力の向上と、協働性を高めて行くにはどうすればよいか。
 - 話題提供者 北斗市立茂辺地小学校長 岩間唯史

4. おわりに

本校長会では、ブロック研究と研修部研究が二本の大きな柱となっている。ブロック研究は、第14期3か年継続研究の1年次目として、自校における課題把握と理論研究がされた。研修部研究では、今年度行われた道小研渡島・北斗大会の環境教育の分科会で、エネルギー・環境教育の推進に関する提言において、指導資料を作ることにより各校における実践の意欲化を図るとともに、エネルギー教育に取り組む一つの指針を示すことができた。

来年度は2年次目として、各ブロックで「創意と活力に満ちた学校経営ビジョンと校長の在り方」「確かな学力を育む教育課程の編成と校長の在り方」「教職員の資質能力を高める研修・人材育成と校長の関わり」について具体的に研究を推進していく予定である。